

なかい 議会だより



3月議会定例会

町づくりを問う

一般質問5人が登壇

議会報告会資料

②

⑨

⑮

ハートの丘から見たダイヤモンド富士

議会ホームページ



第203号

令和 5年5月1日発行

神奈川県中井町議会

予算を審議

3月定例会

2月28日～3月10日

総額 77億 54万円

主な審議内容

新年度予算 6会計

一般質問5名	5問
条例制定	1件
条例改正	5件
補正予算	4件
委員会報告	2件

総務費
7億8054万7千円

問 大学連携報事業を今後どのように進めていくのか。

答 大学生の若い感覚や大学の持つ専門的な知識を町政運営に生かしていくことが大きな目的。

問 大学連携事業の6事業の内容は。

答 ICTの活用操作支援ボランティア、デジタルデバイス[※]に関する事業、スポーツのプログラム運営、里都まちふらっとスポーツの企画事業、フェスティバルポスターやチラシのデザイン作成、新たに設ける魅力発信パートナー制度。

問 空き家推進補助金は子育て世代もそうでない人も同じ土俵の上で進めた方が良いのでは。

答 人口対策の関係で、子育て世帯の転出抑制と転入促進が町の大きな課題と考えている。空き家の補助については、今まで改修をしなければ補助対象ではなかったが、令和5年度からは対象を広げ購入するだけで補助対象とした。



問 自治体DXに伴い、今まで使っていたシステムから国の提供するシステムへの切り替える作業の進行状況は。

答 情報システムの標準化が課されている。令和7年9月をめどに移行していきたい。関連経費として260万円を計上。移行関連の計画作成、外字の取り込み作業、旧字の変換作業等のシステム関連経費を計上。

[※]デジタルデバイス インターネットやコンピュータのような情報通信技術を使える人と使えない人の間に生まれる差。情報格差。

民生費

12億2699万2千円

問 保育所運営費の一般廃棄物処理手数料が増額になっているが。

答 新年度から始まる紙おむつ回収事業。

問 こども園の調理業務を業者委託することにより調理員の指揮命令系統はどのようになるか。

答 調理員については調理会社の受託事業者ということで、こども園の指揮命令系統下には入らない。しかしながら、仕様書を作成し、園と責任者と色々な



問 小児医療費助成の対象が18歳になるが、婚姻、学生、就労の対応は。

答 基本的に、在学とか就労など要件は設けずに幅広く対象。

衛生費

3億2197万1千円

問 特定不妊治療費補助金の予算がないが。

答 保険適用となったことで廃止した。

問 1カ月くらい放置のままのところが見受けられるが。

答 町民等から通報があれば、役場の職員が回収に対応。

問 不法投棄散乱ごみ監視回収状況は。

答 シルバー人材センターに委託し、月6回パトロールを実施。

問 新生児聴覚検査受検料とは

答 生まれた際に聴覚の異常を早期に把握する検査費用。

ここが
ききたい!



令和5年度

一般会計予算 43億4,950万円

農林水産業費
1億8238万9千円

問 農道整備費では、どの地区の広域農道舗装補修を予定しているか。

答 広域農道の松原橋近辺の舗装工事を行う。

問 広域農道の横断歩道等停止線が消えているが、警察への要請は。

答 パトロール等で分かった時点で対応しているが、予算がつかないと回答もある。できる範囲で少しずつ対応している。

問 森林環境譲与税の基金の使用の方は。

答 使い道が制限されているが、施設の改修等のタイミングで活用したい。

商工費

問 中小企業振興融資制度の貸付1530万円の利用状況は。

答 令和2年度は7件。令和3年度は22件の融資。

利子補給で、緊急支援融資は通常5万円を50万円に拡大し、3年間の全額補助の取組をしている。

問 ふるさと納税推進事業費を減額した理由は。

答 電動アシスト付き自転車、中国のロックダウン等で入荷が出来ない状況があり、寄付額に反映している。

問 ゴルフ場に設置された自動販売機でのふるさと納税額は。

答 令和4年の5月17日からスタートして、2月末時点で289件。2688万円の寄付額。

問 震生湖の散策路整備などの工事の内容は。

答 秦野市と連携し湖畔の散策路整備が令和4年度終了した。山林の散策路の危険場所に転落防止柵の設置等をする。

問 シーズンになると駐車場がいっぱい道路に駐車している。中井側に駐車場を造る計画は。

答 農地150坪を整地し、5〜6台の駐車場整備を考えている。

問 里都まち交流拠点運営費31.7%増の理由は。

答 キッチンの修繕、カフェ側のごみ集積、必要な部分のストックヤードを増設する。

1億 176万円

問 里都まち交流拠点の今後の在り方と目標は。

答 新たな体制で運営。キッチンを活用を意識しての取組を理解。新たな展開、独自性をもって運営してもらうよう支援を継続していく。

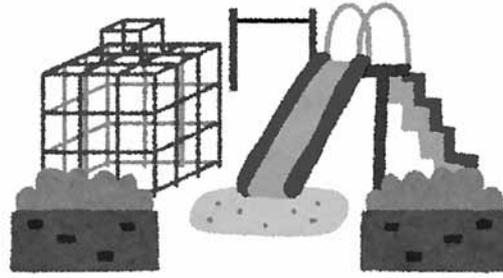


ますます活用が期待される
里都まち交流拠点

土木費 8億6236万5千円

問 複合型遊具設置工事は、どのような遊具を設置するか。

答 コンビネーション遊具を含めた複合的な遊具、一体的な遊具を設置する。



問 土地区画整理事業補助金2億4179万円の内容は。

答 令和5年度は調整池の整備に7514万円、雨水管の整備に1億6600万円ほどである。

問 令和6年度以降、土地区画整理事業補助金を予定しているか。

答 令和8年度までに、調整池の整備、道路整備、下水道整備、緑地整備等に4億8000万円となる予定。

消防費

問 防災無線の修繕料とは。

答 屋外子局の電池交換費。5年を経過したので、バッテリーの交換時期が発生してきた。

問 災害時の食料の備蓄に液体ミルクは、調乳の手間がなく、すぐに利用できるメリットがあるか。

答 備蓄の期間の問題で、現在は粉ミルクで対応。

教育費

問 就学援助について、本来の対象世帯の方が、漏れなく申請されるような手立ては。

答 外国籍の児童・生徒の方にも手厚く支援していきたい。英語版とかポルトガル語版に訳した案内を学校に配布している。

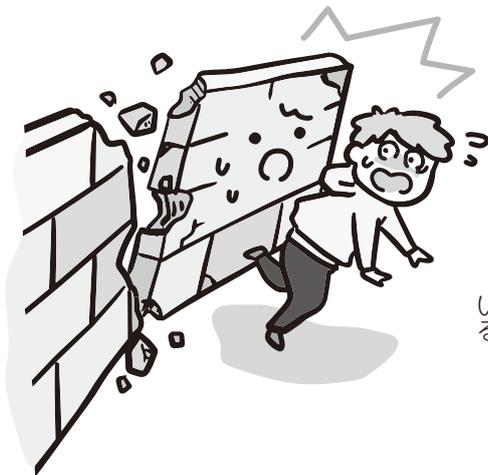
問 郷土資料館をどのような目的を持って維持、存続を考えているか。

答 町民の郷土愛を大切にするため。

2億1426万円

問 危険ブロック塀等安全対策の補助金は通学路に限定されているのか。

答 当初は通学路で制度設計をしていたが、通学路に指定していなくても、危険な状況にあるような場所は補助の対象になっている。



4億3824万1千円

問 学校給食の公会計化、具体的な利点は。

答 食材費を町が予算化して、年間を通して管理していくことで計画的な食材調達ができ、安定的な供給が行える。



国民健康保険特別会計 11億8606万7千円

問 一般会計繰入金や基金を活用し税負担を軽減する検討は。

答 一般会計繰入金は、県から今後行わないようにとあり、引き続き、基金活用していきたい。

介護保険特別会計
9億2323万2千円

問 足柄上地区認定審査会負担金の割合は。

答 利用に応じて職員の給与費や役務費等の実績割と、システム経費の均等割になっている。

問 保険給付金で居宅介護サービスが伸びて施設介護サービスが減少している理由は。

答 居宅介護サービスは2年から5年と利用が伸びてきているため、需要を見込んでいます。施設介護サービスは需要が伸びないと見立てをしている。

後期高齢者医療事業特別会計
1億8096万7千円

下水道事業会計
4億3310万円

水道事業会計
6億2768万円

に
対
する
反
対
討
論
尾
尻
孝
和
議
員

町民一人ひとりが抱える課題に
対するには、必要な職員の配置
が必要です。現在の総人件費抑
制方針のもとでの継続的な人
員削減路線を切り替え、将来を
見越し、必要な人材の確保に力
を入れるべきです。

技能等が世代間で継承されず
業務遂行上の重大な支障が生じ
る。あるいは、町民サービスに
支障をきたすような事態、絶対
に避けていただきたい。

政府による自治体DXの推進
が、否応なしに進められていま
す。自治体を持つている膨大な
個人情報や企業活動に利用・活
用する。すでに稼働しているシ
ステムも、国の提供する標準シ
ステムへ切り替える。

費やされる膨大な町予算と職
員の労力、それを一人ひとりの
町民の抱える課題、その解決に
振り向けるなら、どれだけ町民
から喜ばれるでしょう。

国民健康保険加入世帯の多く
が、所得の1割を超える国保税

負担に苦しんでいます。あと1
000万円繰り入れることで国
保税5%の引き下げができます。
一昨年からはじまった学校給
食無償化の継続。18歳になった
3月末まで拡大する小児医療費
無料化。空き家活用や移住・定
住促進事業の実態に即した改善
オンデマンドバス利用者会議の
計画。保育園・こども園での紙
おむつ回収。など、各事業での
町民の願いに対応する様々な工
夫を評価いたします。

サンリオとの契約を打ち切り、
今回、予算計上されませんでし
た。

今回の事態で教訓とすべきこ
とは、町長のおっしゃる「政策
は町民お一人おひとりの抱える
課題の集積から生まれてくる」
だと考えます。

町民一人ひとりの抱える課題
それをすべての事業に取組むに
あたって基本にすることを求
め、2023年度予算案に対す
る反対討論といたします。

る反対討論といたします。

に
対
する
賛
成
討
論
峯
尾
進
議
員

令和5年度中井町一般会計予
算では、国際情勢の悪化やコロ
ナ禍の長期化による中ではあり
ますが、子育て少子化対策・生
活交通・定住促進など、重点配
分された予算であり、まず目的
と課題が明確化できた予算とし
て評価いたします。持続可能な
町づくりには財源の確保が必須
条件であり、諸般の事情で遅れ
ていた、インター周辺開発の認
可を待ち、新たな産業基盤の構
築に向けたインフラ整備なども、
いずれその効果が表れることと
期待しております。また移住定
住促進については、都市一極集
中の回帰傾向が強く、現段階で
の手法として評価するものの、
町の対外的評価の根底にある、
町民の足としての利便性向上を
図るためにも、新たなモビリテ
ィの研究が待たれており、相乗
効果を図ると共に、移動・定
住・空き家などセットした取組
みなどで全体の事業を押し上げ
る工夫が必要と感じたところで

あります。小児医療助成におい
て対象を高校生までの拡大を図
り、保育園での紙おむつ回収な
どは大いに評価するところであ
りますが、若年少子化対策に偏
向することなく、敬老祝い金の
再検討など、町民の3分の1以
上の高齢者対策も忘れてならな
いと申し添えておきます。これ
ら予算の執行にあたり、行政サ
ービスの向上のために人的資源
の育成と投資が、自治体の体力
をつけるために必要不可欠で、
補助支援の拡大だけでなく、裾
野を広げた町内中小企業の育成
や雇用促進などに力点を注いで
いただき、自立と成長を兼ね備
えた、循環効果が十分確認でき
る予算として執行していただく
ことをお願い申し上げます。

令和5年度中井町一般会計当初
予算に賛成討論とします。

令和5年度中井町一般会計当初
予算に賛成討論とします。

反 対 討 論

加藤久美 議員

「心える町政」とした戸村町長が誕生し、初めての予算というところもあり反対という決断をせざるを得なかったことは、大変に残念です。町は、令和5年度予算編成の基本的な考えを「これまでの成果を点検し、進捗状況を踏まえ、課題にしっかりと向き合い、持続可能なまちづくりを着実に進めていくために、町の魅力、暮らしの充実や地域の安心を高める施策・事業に対して重点的な予算配分とした」とのことでした。反対の主な理由は、学校給食センターの安全性や機能性、現状にある問題が理解されながらも、計画と予算は、問題解決へと検討を尽くした最善のものとは、とても言い難く、問題の本質から逃れ、説明責任や執行責任といった観点も納得がいかなかった点。郷土資料館事業は、放置された課題が事務事業評価により明確となり、改善への糸口が見えたことから進めようという姿勢は見えたものの、現実の予算からは矛盾が伺え、本来の目的がより

不鮮明となった点です。令和5年度には事務事業評価事業は予算化されず、それに替わるどのような方法で残る課題を解決していくのかは不明瞭なままでした。せめて人材育成のための人事・職員研修費は意欲的なものであつて欲しかったと思います。ここにおいても何が原因となり、エビデンスに基づいた事業展開ができないのかという疑問が残り、以前と何ら変わらない令和5年度予算でした。18歳までの小児医療費無償化は職員の努力により4月開始にできなかったのかと悔やまれます。シティプロモーション事業やふるさと納税、観光事業においては、今年度、大きな失敗がありました。これは執行全体の責任として捉え、次年度、失った町民の信頼を取り戻すべく事業展開を期待します。町民が納得し、共に喜べる事業計画とし、その事業が町民の有益であるか、社会的効果があるのかを丁寧に考え、しっかりとした町の方針を示すことを求めます。

条例制定

◎中井町議会の個人情報保護に関する条例

令和3年に交付されたデジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律が公布され、国の行政機関、独立行政法人等、地方公共団体、地方独立行政法人についてそれぞれ分かれていた個人情報保護制度が、個人情報保護に関する法律に一本化されることとなった。しかしながら、国会、裁判所と同様、議会においては、自律的な対応のもと個人情報の適切な取扱いが図られることが望ましいことから、法が定める規律の適用対象とされていないことから、議会が保有する個人情報の適正な取扱い、個人の権利利益を保護するため、議会独自の条例を制定しました。

条例改正

◎中井町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

令和5年4月1日からの中井町情報公開・個人情報保護審査会の設置に向け、委員報酬を定める所要の改正を行いました。

◎中井町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

会計年度任用職員の給与水準の決定については、類似する職務に従事する常勤職員の属する職務の級の号給の給料月額を基礎としていることから、令和4年度の常勤職員の給料表の改定を踏まえ、所要の改正を行いました。

◎中井町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部を改正する内閣府令の施行により、懲戒権に関する規定が削除されたことから、所要の改正を行いました。

◎中井町小児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

子育て世帯が更なる安心感を得ることと経済的負担の軽減のため、小児医療費の助成対象を18歳までに引き上げました。

◎中井町国民健康保険条例の一部を改正する条例

健康保険法施行令等の一部改正に伴い、出産育児一時金の支給額を42万円から50万円に引き上げるものです。

問 今回の改定は、神奈川県最低賃金の率を下回っているが、

答 支給する際に、地域手当等も加算され、下回るのであれば、最低賃金以上の金額を保障する。



補正予算

◎令和4年度中井町一般会計補正予算(第7号)
8393万2千円の追加
総額44億3518万9千円

歳出では、新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止や、事業費の確定に伴う減額。歳入では、国・県補助金で事業費の確定及び決算見込みによる財源の補正等が主な内容となっています。

その他の歳出では、総務費では、基金積立費において、財政調整基金及び公共施設建設準備積立基金を増額したほか、土木費では、中井中央公園費において、燃料価格の高騰を受け指定管理者補助金を増額し、町営住宅管理費では、入居者の退去に伴う廃棄物処理委託料を新たに計上しました。

諸支出金では、新たに発生した過年度分国県支出金返納金を増額しました。

歳入では、町税で個人町民税、法人町民税を減額、固定資産税

を増額したほか、普通交付税を増額いたしました。

国・県支出金では、歳出の補正と合わせて、児童手当負担金、社会資本整備総合交付金、ふるさと応援寄附金などをそれぞれ減額しました。

また、町債については、普通交付税の追加交付に伴い、臨時財政対策債の借入を取りやめました。

なお、総務費においては、戸籍情報システム改修事業費を、農林水産業費においては、農道整備費及び地籍調査事業費を、土木費においては、町道舗装補修事業費を、それぞれ国・県の令和4年度補正予算等を受け、早期事業着手等を目的に追加計上するものですが、年度内の執行が難しいことから、明許繰越いたしました。

問 町道の補修の要望が出ていると思うが、先送りする理由は。

答 町道の補修、舗装工事については、補助金を活用して、順次毎年補修工事を行っている。

令和4年度、国の内示があつ

ため、本来5年度に予定していた事業を4年度事業に組み込み、繰越事業とした。少しでも舗装の補修工事を早期着手し、早期の完成を目指している。

◎令和4年度中井町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
7560万円の減額
総額11億4706万1千円

歳出については、保険給付実績から、保険給付費の一般被保険者療養給付費、審査支払手数料及び一般被保険者高額療養費を減額し、歳入につきましては、県支出金の保険給付費等交付金を減額し収支の均衡を図りました。

◎令和4年度中井町介護保険特別会計補正予算(第4号)
793万5千円の追加
総額9億3353万円

歳出の主な内容は、保険給付費の実績見直しにより、居宅介護サービス給付費及び施設介護サービス給付費等を減額する一

方、地域密着型介護サービス給付費の追加計上を行うものです。

なお、介護給付費が当初見込みを下回っていることから介護保険給付費支払基金へ3600万円を積み立てることとなりました。

歳入については、保険給付実績に基づき交付される県負担金、支払基金交付金及び一般会計繰入金の減額と前年度繰越金の追加計上をいたしました。

◎令和4年度中井町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)
1038万7千円の減額
総額1億6707万2千円

歳出については、現年度保険料の実績及び前年度保険料の精算並びに保険基盤安定制度拠出金の確定に伴い、広域連合納付金を減額するものです。

歳入については、保険基盤安定繰入金及び保険料を減額し、前年度繰越金を増額することで収支の均衡を図りました。

第1回臨時会

令和5年
1月17日

補正予算 1件

補正予算

◎令和4年度中井町一般会計補正予算(第6号)
385万8千円の増額
総額43億5125万7千円

歳出では、妊婦・子育て家庭を経済的に支援する取組として、出産・子育て応援交付金交付事業を実施するための経費を計上しました。

歳入では、歳出の補正と合わせて、出産・子育て応援交付事業補助金を計上し、前年度繰越金を増額することで収支の均衡を図りました。

委員会報告

文教民生常任委員会

令和4年9月より審査してきました所管事務調査「健康・体力づくりステーション事業の現状について」の審査結果を報告いたします。

神奈川県では、食事、運動、癒しの三点を挙げ、県民が健康に過ごせるよう、未病改善を進めています。中井町でもこれを受け、健康増進食育推進計画を立て、着実に遂行するとともにその一環として平成28年2月に中井健康づくりステーションを設置しました。ここでは、バーチャル映像の中で、運動を楽しむことができます。

また、個々の体力、健康状態を自分で把握でき、それに応じた運動や生活習慣の改善を図ることができます。ステーションが多くの方に利用され、健康・体力づくりに寄与することができたことは高く評価されます。

令和5年度には民間事業者を活用したイベント開催や、ニーズの高い設備の導入を予定しており、さらなる町民の健康・体力づくりが推進されることを期待するとともに、多くの町民が利用することができるよう、今後も努力していただきたい。

委員会報告

総務経済常任委員会

令和3年6月より審査してきました所管事務調査「今後の交通システムについて」は、審議を終結し、その結果町に対し、決議を提出しました。内容につきましては以下のとおりです。

決議

町民ニーズに応え、多くの方に喜ばれる「交通システムの構築」を求める決議

本町を取り巻く交通の課題は、路線バスの減便や、高齢化に伴う免許証の返納者の増加、保護者の児童生徒の送迎負担など、様々な課題を抱えている。

それらの課題を補完するため、オンデマンドバスの需要が増加している。

また、オンデマンドバスの実証運行を開始してから本年度10年が経過することからも、多様化する町民ニーズに応え、多くの方に喜ばれる交通システムを構築する必要から下記の点について改善されるよう求めます。

記

1. 自宅前降車方式の実証運行を継続する。
帰宅時のみ希望降車ポイントで降りられる方式を引き続き継続するとともに、対象者をデマンドに実績のある65歳以上の利用者と妊産婦に限定せず、すべての人を対象とする。
2. バス更新時に小回りの利く小型のバスに更新する。
3. 路線バスのフィーダーバスとして位置付ける。
風雨をしのぎ、トイレを完備した休憩所を原のバス停留所に設置する。
4. 循環型への一部導入の検討をする。
定時路線型運行（曜日、地区、時間を決め、予約なしでオンデマンドバスを巡回する。）
5. 乗り合いデマンドタクシーへの転換の検討をする。
ドアツードアの実現。
6. 自家用有償運送の検討をする。
NPOや地元協議会等が行う自家用有償旅客運送の規制緩和に伴い、新たな公共交通としての検討。

以上、決議する。

令和5年3月10日

中井町長 戸村 裕司 殿

中井町議会

審議した議案等と審議結果

令和5年第1回臨時会

提出者	議案名	議員名	議決日	審議結果	石渡正次	古宮祐二	多田勲	峯尾進	尾尻孝和	加藤久美	森文嘉	岸光男	原憲三	成川保美
町長	令和4年度中井町一般会計補正予算(第6号)		1/27	可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○

令和5年第1回定例会

議会	中井町議会の個人情報の保護に関する条例		3/1	可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
町長	中井町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		3/1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		3/1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		3/1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町小児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例		3/1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町国民健康保険条例の一部を改正する条例		3/1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	令和4年度中井町一般会計補正予算(第7号)		3/1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	令和4年度中井町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)		3/1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	令和4年度中井町介護保険特別会計補正予算(第4号)		3/1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	令和4年度中井町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)		3/1	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	令和5年度中井町一般会計予算		3/10	可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
町長	令和5年度中井町国民健康保険特別会計予算		3/10	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
町長	令和5年度中井町介護保険特別会計予算		3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	令和5年度中井町後期高齢者医療事業特別会計予算		3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	令和5年度中井町下水道事業会計予算		3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	令和5年度中井町水道事業会計予算		3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	町民ニーズに応え、多くの方に喜ばれる「交通システムの構築」を求める決議		3/10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※井上泰弘議長は採決に加わりません。○は賛成、●は反対を表しています。

一般質問

町の行財政改革の 取組を問う



森 文嘉 議員

町長 中井町DX推進計画を早急に策定

現在、自治体にはアナログ文化が存在し「紙からデジタル」への転換が求められている。

既に2000年時点で民間企業では、90%の書類を電子的に管理、70%はプリントアウトされることなく業務に利用されている。住民の利便性向上、業務の効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げるためにも自治体DXは必須であります。そこで伺います。

問 最初の取組として「認識の共有、機運の醸成」が挙げられるが、これまでの取組は。

答 町民のデジタル化に関する認識、現状把握の必要性から令和3年度にアンケート調査を実施している。

問 「認識の共有、機運の醸成」は町民に対してのものではなく、職員の共通認識である。町長はどの様に考えているか。

答 機運の醸成は、職員のものだと思っている。今、DX推進計画を策定しているが、賢い予算の確保、賢いデジタル活用を踏まえ全体を見ながらの取組が必要になると認識している。

問 DX推進計画の策定は。

答 令和5年度の早い段階で取りまとめはしていきたい。

問 現在の組織体制は。

答 令和3年度に総務課に情報班を設置し、各課よりメンバーを募り中井町DX推進チームを構成。情報班職員2名とデジタル推進員として専門の会計年度任用職員1名を雇用し、庁内全体のDXの推進を行っている。

問 CIO（最高情報責任者）など組織体制を見直す予定は。

答 まず、令和5年度より情報班を総務課から企画課に移す事がポイントと考えている。CIOについては、町長の私だという気持ちでいるが皆さんの意見も聞いてみる。

問 新たな人材確保と、庁内職員の人材研修の予定は。

答 専門人材の必要性は高まると考えている。常勤職員の雇用も含め、職員の育成は今後の検討課題と認識している。

問 町内でのマイナンバーカード取得率と手続きでの対応は。

答 取得率は61%弱、申請率は75%台の状況にあり、現在、月2回の平日夜間と休日開庁で手続き対応をしている。

問 町長は賀詞交換会に於いて、「デジタル田園都市国家構想への取組を担当に指示した」と挨拶された。指示の内容は。

答 キーワードをウエルビーイング（幸福）と捉え、デジタルDXが発展したものがデジタルであり、また地方創生総合戦略から引き継がれたものでもある。この二つの流れを受け止め、本格的な取組を進めていく。

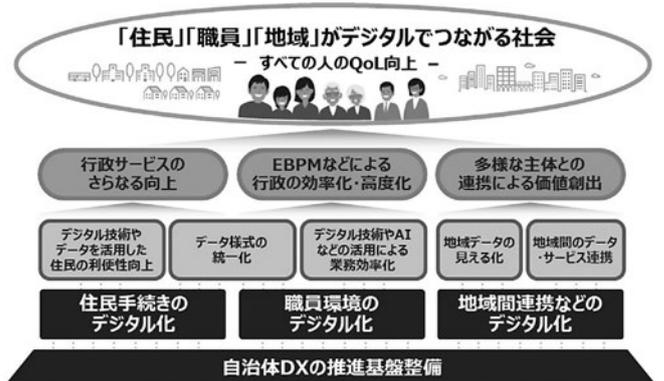
問 DXやデジタル推進に向けた令和5年度交付金申請要項が発表されている。申請予定は。

答 現在予定していない。

問 地方公会計の活用が進む中、その目的についての認識は。

答 財政の透明性を高め、住民に対する説明責任と、財政の効率化、適正化を図るための活用が望まれている。

問 令和5年度予算査定の際、財務状況資料等参考にしたのか。



答 参考にはしませんが、サブシステムとして公会計制度を活用していくことがポイントと考えている。

※DX（デジタルトランスフォーメーション） デジタル技術を社会に浸透させて、人々の生活をより良いものへと変革することを指します。

※デジタル田園都市国家構想（デジタル技術が急速に発展する中、デジタルは地方が抱える人口減少・少子高齢化、過疎化、東京圏の一極集中、地域産業の空洞化などの社会問題を解決する鍵と期待されている国の施策。

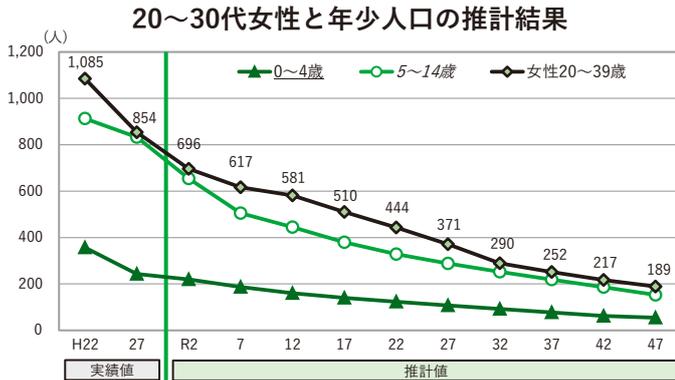
一般質問

人口減少と今後のまちづくりの課題を問う



成川保美 議員

町長 総合計画後期基本計画をしっかりと実施



資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

問 本町の2020年～2022年の0歳～14歳までの実績数と人口比率は。

答 町が推計した人口ビジョンでは、令和42年の人口を4346人に改定され、20代30代の人口が減少傾向にあると指摘された。令和47年は3772人に人口減少が見込まれる事から、令和42年で6000人の人口規模を目指すとなっている。令和47年の高齢化率55.6%を見据え、持続可能な町づくりには何が必要か。現状と課題について問う。

問 若い人たちが中井町で生活するには、雇用の環境整備が必要。町内企業数は。

答 308社

問 若い人たちが中井町で生活するには、雇用の環境整備が必要。町内企業数は。

答 308社

問 毎年30人程度の純移動数の改善を目指す具体策とは。

答 転入を促進する新たな補助金の政策展開、転出抑制、空き家対策、小児医療費18歳まで引き上げ等、令和5年度から実施。

問 中井町の合計特殊出生率が低い現状については。

答 県内25位。危機感を持った政策展開が必要。

問 2020年度の社人研の実績数では43人の減少数が既に出ている。実績数でも一年で33人から34人の子どもが減っているのか。

答 社人研の推計よりも下回っている状況。施策について強化して行く取組が必要と認識。

問 2020年度は832人で8.98%。2021年度は798人で8.77%。2022年度は765人で8.44%。

答 2020年度の社人研の実績数では43人の減少数が既に出ている。実績数でも一年で33人から34人の子どもが減っているのか。

問 子どもの少なさを利点に捉

答 5年間の総合計画後期基本計画をしっかりと実施していく。

問 令和47年の人口3772人、高齢化率55.6%に向けての取組と基本的な考えは。

答 5年間の総合計画後期基本計画をしっかりと実施していく。

問 長期的な行財政運営はご指摘の通り。国の新たな人口ビジョンの基となる計画が策定される。参考にして見直しが必要。

答 長期的な行財政運営はご指摘の通り。国の新たな人口ビジョンの基となる計画が策定される。参考にして見直しが必要。

問 社人研推計に基づく町民、個人分の将来推計では、令和47年には、令和2年の40%まで低下すると推測。人口3772人に対し、職員何名になるのか。

答 社人研推計に基づく町民、個人分の将来推計では、令和47年には、令和2年の40%まで低下すると推測。人口3772人に対し、職員何名になるのか。

問 雇用がポイントである事は同じ思い。町内で働ける環境づくり、町内で暮らしていける状況づくりをしていきたい。

答 雇用がポイントである事は同じ思い。町内で働ける環境づくり、町内で暮らしていける状況づくりをしていきたい。

問 資本金1億円以上が64社、従業員50人以上が16社ある。町内企業と連携し、町民の雇用を積極的に結んで頂きたいが。

答 雇用がポイントである事は同じ思い。町内で働ける環境づくり、町内で暮らしていける状況づくりをしていきたい。

問 純移動数 転入数から転出数を差し引いた数。

答 純移動数 転入数から転出数を差し引いた数。

問 町民の方に概要版が必要。

答 1枚にコンパクトにまとめて公表できるように準備する。

問 延命化や整備費用等、30施設の総合管理計画の総額費用は。

答 34年間の累計で300億円強。年間8.8億円の経費が掛かる。

問 中井町では子どもたちに素晴らしい教育をしていると、お母さん方の支持を得て、よその町からも「中井町の学校は素晴らしい」と、言って頂けるような教育を推進して頂きたい。

答 学校教育と社会教育を両輪として、今後も進めていく。

問 何が今の時代必要なのか。この視点を最優先して、教育の方向性を考えていきたい。

答 え、素晴らしい教育の発想は。何が今の時代必要なのか。この視点を最優先して、教育の方向性を考えていきたい。

問 中井町では子どもたちに素晴らしい教育をしていると、お母さん方の支持を得て、よその町からも「中井町の学校は素晴らしい」と、言って頂けるような教育を推進して頂きたい。

答 学校教育と社会教育を両輪として、今後も進めていく。

一般質問

外国籍町民の子どもを支える取組を



加藤 久美 議員

町長 ニーズに応じた教育活動を推進

町の人口は令和5年2月1日現在で9061人、うち外国籍の町民は396人、うち16歳以下は59人と、外国籍の子どもの数は年々増えている。そのため、中井中学校、井ノ口小学校では平成30年から「国際教室」が設置され、外国籍の子どもたちへの日本語指導などが行われています。本町で暮らす全ての子どもたちが将来に希望をもてるよう「外国籍の子どもたちを支える取組」について質問する。

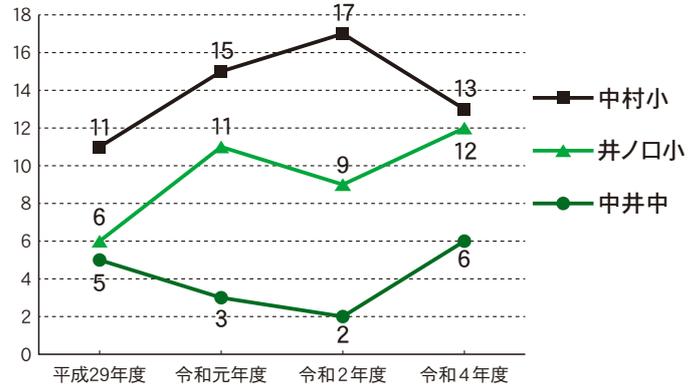
問 令和2年7月、国は「外国人の子どもの就学促進及び就学状況の把握等に関する指針の策定について」を通知。地方公共団体が講ずべき事項について本町での取組は。

答 住民基本台帳の情報に基づき、適切に小・中学校への入学手続きを行い、転・編入の場合には外国語のパンフレットを用いながら就学案内を行っている。

問 外国籍の子どもたちの多くは家族や経済、文化の違いなど様々な困難を複雑に抱えている。そうした背景を意識しながら、

各小・中学校の外国につながる児童・生徒数

各年3月1日現在



日本語支援だけでなく、生活全体の相談支援など、丁寧な取組が必要とされているが、本町での相談支援状況について伺う。

答 児童・生徒へのきめ細かなサポートを行うため、教育相談コーディネータ役を担う教員を中心に担任やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが連携し、課題を抱える児童・生徒の支援に努めている。

問 外国籍の子どもたちへの学習や支援は、一部の教員や職員

支援者の善意に支えられるべきものではなく、町として組織的・計画的に実施するもの。本町の実施状況と今後の考えは。

答 定期的に小・中学校との連絡会を開催、支援内容の改善や充実、取組の強化を図る。各学校への翻訳機の配置や、民間企業の協力を得た、実態に合わせた支援・指導の充実を図る。

更に、高校進学への進路指導をはじめ、相談体制の強化に努めるなど計画的かつ組織的に対応。

問 言葉の壁によって行政サービスが受けられないとは、どういうことなのか。病気や災害などアクシデントが起こった時に自分の状況がうまく相手に伝えられない、相手の説明がよく分からないという状況は本当に不安だと思ふ。医療通訳や災害時などの対応を町は早急に整備することが必要ではないか。

答 企業の壁、言葉の壁を超え、今回地域防災課を通して外国人の方へのリサーチをすることができた。これからもっとしっかりと見なければならぬ。

問 6課に関わる部署があり、その他、社協や町外団体がある。現在は縦割りで連携が取りにくく、情報をまとめアセスメントし、対応することは困難だと思う。利用者からも、役割分担が理解できない、相談もできないといった声があるので、ハブとなる担当係を設置し、窓口を1つにすることで、当事者の安心感だけではなく信頼をつくること、そして、各課の業務効率化を図ることもできるのではないか。

答 ワンストップの1つの窓口をつくっていくのも一つの考え。多文化共生を視野に入れるなら、その形の取組も出てくるかもしれない。ただ、現状としてはまずこの状況で、各課ごとの情報共有を密にし、それぞれの抱える課題、ステップを踏みながらつくっていくことと思ふ。

一般質問

町民に寄り添うには、 職員確保が必要



尾尻 孝和 議員

町長 指摘のとおりだと思います

問 役場職員の担う業務の総量、ますます増え続けている。直接町民と向き合う部署で、町民に寄り添っていたら仕事が終わらない。決められた業務を行うことで精いっぱい。これが現実かと。戸村町長の言われる、「政策はお一人おひとりの抱える課題の集積から生まれてきます。町民の皆様の幸せを最優先に、人助けとまちづくり、そして地域づくりを直結します。」職員として見れば、確かにその通りだし、そのように取組みたい。そう思っても、現実には抱えた仕事、これをこなすので精いっぱい、町民に寄り添って対応したいが、ままならない。職員の立場からすると、住民に奉仕することを通じ、仕事へのやりがいと誇りを培っていただけるものだが、現実にはなかなかままならない。反対に、町民の立場からは、聞いてくれない、言うだけ無駄といった思いを時としては募らせてしまう。町民にとっても、職員にとってもとても不幸なことです。



問 町民と行政一体となって実現していくのに欠かせない一つの鍵は、必要な職員の確保だと思いますが。

答 「指摘のとおりだと思います。」

問 保健師若干名、土木技術職若干名の募集をしたものの、昨年は応募自体がなく、昨年は応募があったものの採用まで至らなかった理由は。

答 退職者補充等も行っていないのが現状。保健師の数としては絶対的に足りていない。

土木技術職に関しては、土木分野の設計、維持管理、施工管理等が求められてくるというなかで、この辺の対応が難しい。

問 2022年の大卒初任給、中井町が18万2200円、小田原市が18万9900円、平塚市が19万3000円です。新規採用スタートの時点で毎月7700円、1万8000円の差額です。同じ仕事内容ならどちらが選ばれるかはおのずと知れたことかと。

まして、仕事の内容は保健師の場合でも土木技術職の場合でも小田原市や平塚市のほうがバリエーションに富んでおり、仕事への支援体制もより充実しているし、スキルも身につけやすい。そう考えれば、小田原市や平塚市を超える初任給にしななければ中井町が選ばれることはありません。

中井町で保健師、土木技術職を確保す

るには、そういったところまで踏み込まないと進まないのではないのでしょうか。

答 絶対数として学生の数も減っている。民間との格差が大幅広がってきているのも事実。専門職は再就職というようなことも考えていかないと。

人材確保、人材育成というのは本当にこれらが一番大事。いろんな仕事をやるに当たっても最後は職員にやっていただくなくてはいけませんので、その確保というのは本当に一番大事な課題だということに考えております。

問 必要とされる人材、将来にわたって確保していかねばなりません。そのために職員の働く環境の整備と労働条件の一層の拡充に取組むこと。これがどうしても必要になるが。

答 職員がしっかりと働く環境がなければ仕事もいろんな業務はもちろん進んでいきませんので、その辺はしっかり取組むべきだということに、同じように考えております。

一般質問



多田 勲 議員

地域防犯力の向上は

町長 慎重に防犯体制をつくっていく

安全で安心して生活できる環境を作るためには、意識づくり・地域づくり・環境づくりの防犯対策の取組を町ぐるみで行うことが大切。時代とともに犯罪の多様化が進む中で地域の防犯力を高める取組が強く求められている。

問 自治会等からの防犯カメラ設置要望にどう対応しているか。

答 神奈川県が作成している防犯カメラの設置・管理に関するガイドラインに照らし、設置の判断をしている。

問 防犯カメラの管理、運用基準を策定し文章化しているか。

答 管理、運用に関する要綱をつくり運用している。

問 30年ほど前に商工振興会が設置した街路灯は運営が厳しくなっていると聞けが、どう支援していくか。

答 商工振興会の負担でやっていただき、町での負担は考えていない。

問 防犯灯の設置時に照射範囲や明るさの測定を行っているか。また、定期的に老朽化チェック等の点検を行っているか。



答 設置時の明るさ測定は行っていない。点検はしていないが自治会長会議等で対応している。

問 防犯機能付きの電話の普及について、どのような考えか。

答 電話機の補助ではなく、特殊詐欺の啓発活動を行っていきたい。

問 防犯機能付電話機のメッセージ録音を町でサポートしたり、防犯機能付き電話機の購入補助等を行う考えか。

答 補助よりは、お金をかけないでいろいろな対策方法をきめ細かく啓発できればと考えている。

問 防犯訓練や防犯講座について、どのような考えか。

答 どういう訓練が効果的なのかを研究し、警察等と連携を図りながら行ってきたい。

問 犯罪等情報は、自治会に入っていない方や外国籍の方に十分行き渡っているか。

答 公共施設等に駐在所だよりを配架したり、SNSで発信をしている。

問 町のホームページ等で「暮らしの安全情報コーナー」を設けたらどうか。

答 改善できるところは改善しながら、ホームページの充実を図っていききたい。

問 見通しが悪い道路や危険箇所は点検は。

答 点検できていない状況であるが、通学路に関しては毎年、安全点検等を行っている。

問 家庭で防犯カメラやセンサーライトを設置し、自主防犯力を高めていく必要があると考えるが、どう支援していくか。

答 家庭で設置する防犯カメラ等の補助は今現在考えていない。

問 子ども安全パトロールの担い手不足をどうカバーしていくのか。

答 広報紙等でボランティアの募集をしている。また、新入学児の保護者の方に募集をかけている。

問 子ども110番では、保護する対象は子どもだけか。

答 現段階では子どもと認識しているが、認知症の方や女性の方に拡大することは今後の議論の1つと考えている。

ぎがいトピックス

令和4年度 議会報告会

令和5年2月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、対面式の報告会は取り止めました。動画配信を今年も行いました。

視聴回数

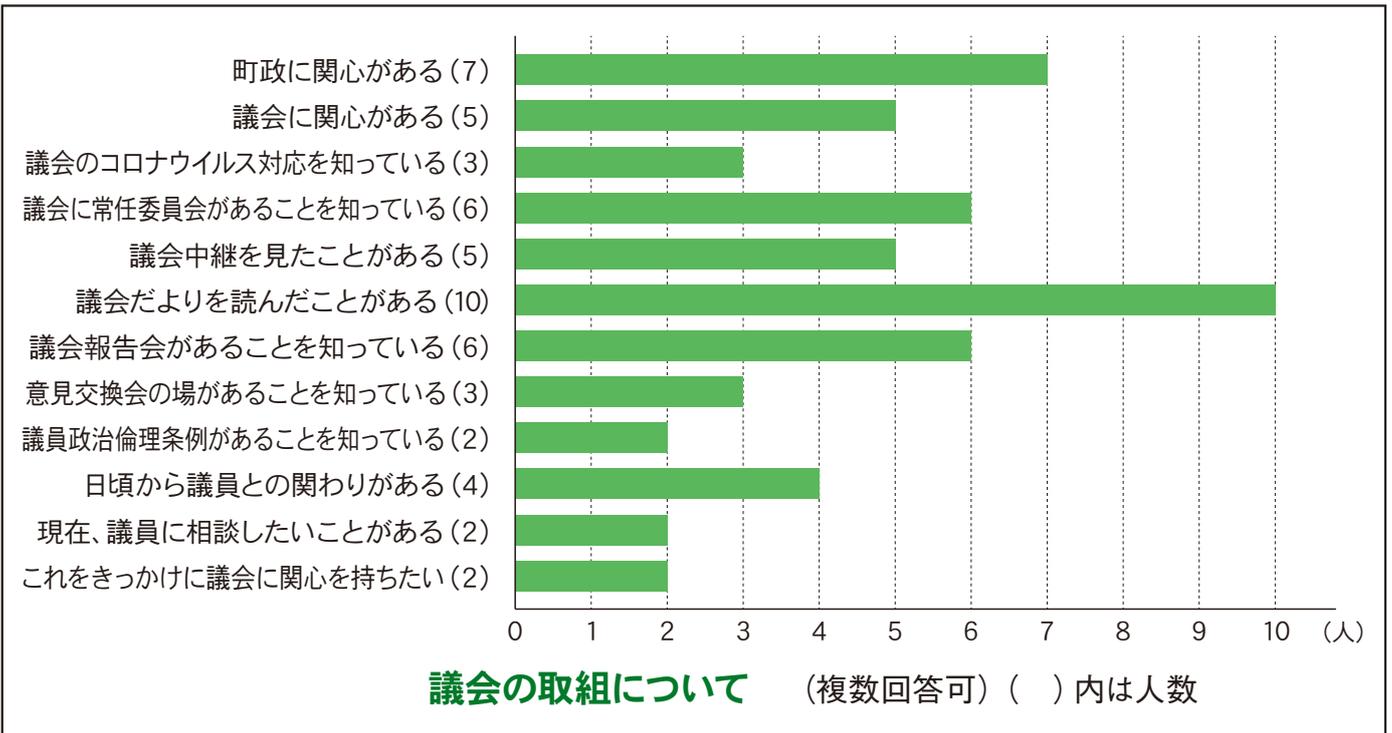
視聴回数は、昨年度270回に対し、今年度は119回にとどまりました。アンケートについては、昨年度の回答数は、45名でしたが、今年度は10名の方から回答をいただきました。

視聴回数、アンケート回答者数ともに昨年度よりも大幅に減少していますが、ご視聴、回答いただきました方々には、感謝申し上げます。今後、多くの方にご覧いただけるよう広報に努めます。

アンケート回答者の年齢(10人中)

10代	0人	50代	3人
20代	0人	60代	4人
30代	1人	70代	1人
40代	0人	80代~	1人

性別 男性5人 女性3人 答えない2人



議会報告会や、議会や町政へのご質問・ご意見等

●学童の費用を町で何割か負担してほしい。

●仕事をしていたり、学童を利用しているが、兄弟がいると学童の費用も2倍、3倍になる。兄弟割引もなく、特に夏休みは1カ月1万円の利用料でパートをしているも物価が高くなる一方で、学童費用もかさみ、家計を圧迫しています。

●境地区の小学生は自家用車での送迎やバスで登下校しているが、これもかなり負担になる。

●歩いて小学校に行けば学校の先生から心配され、徒歩で登校するのはおかしな風習になっている。バスやオンデマンドの利用負担や

スクールバスを検討してほしい。6年間はかなり負担がかかる。

●わかりやすく編集されました。頑張ってください。共通ですが、文書説明画面の時間が短く読み切れない。説明者の画面の時間を短くしたほうが良いかも。

●中井町単独では厳しいかもしれませんが、公共交通のバスが二宮駅南口を出発する中井町役場行の16時台が1本で30分発しかありません。とても17時台は混雑していて大変です。

●自家用自動車中心の中井町からの脱却を強く望みます。オンデマンドバスと公共バスとの乗り継ぎが悪いと車を使ってしまつという悪循環です。オンデマンドバスも交通系ICカードの利用をお願いします。

●貴重なご意見ありがとうございます。今後、担当課と話し合えるを進めて参ります。

議会のページ

1月 議会運営委員会

2月

8日 議会全員協議会
21日 議会運営委員会
28日 定例会本会議
議会全員協議会

3月

1日 定例会本会議
2日 総務経済常任委員会
3日 文教民生常任委員会
6日 定例会本会議
9日 定例会本会議
10日 定例会本会議
議会全員協議会

4月

30日 議会広聴委員会
28日 議員研修会
27日 議会だより編集委員会
4日 議会運営委員会
議会だより編集委員会
7日 臨時議会
11日 議会だより編集委員会



広聴ご意見箱、募集しています



議会広聴委員会では町民の皆さまから、町政や議会へのご意見・ご質問をいただく、「広聴ご意見箱」を開設しています。



右のQRコードをご利用ください。

広聴ご意見箱

リモコン操作方法

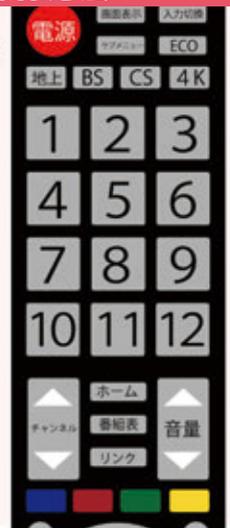
102 地デジ ch

地上 → 10 を

押してからチャンネルボタンの

▲ を1回押します

SCNへの加入が必要です



議会を傍聴しませんか

湘南ケーブルテレビ(102チャンネル)生放送

次回の定例会は

6月6日(火) 開会予定

編集後記

「新型コロナウイルス感染症感染防止のため、マスク着用をお願いします。」議長この言葉が言われ始めて久しい。このよつな中、議会での話し合いの様子や決定した事項の詳細を町民の皆様に分かり易く知っていただきたいと考え、起稿から発行するまでの間に校正や工夫を重ねてきました。是非、203号をご覧になり、「ご意見」感想をいただければ幸いです。(石渡)

議会だより編集委員

委員長 多田 勲 委員 岸 光 男
副委員長 古宮 祐二 委員 成 川 保
委員 石 渡 正 次

町民の声

頭山貴明さん(北田)

観光地から中井町に移り住み7年余りですが、ストレスの少ない日常に大変満足しています。中井町は小田急線の秦野駅、JRの二宮駅まで20分かつからず、しかも混雑なく移動ができ、車での送迎、座れるバス、駅から都内までの電車も座れるのでノンストレスです。そして驚いたのが中学の入学式が午後行われること。これは子ども多い世帯が、中学の入学式に参加できるよう配慮した時間設定で、しかも20年程前から実施されていると聞き、さらに驚きました。コンパクトシティであるからこそ町民の声が行政に届き、届いた声に行政が答える決定力と機動力のある町だと知りました。そして、近隣自治体の子育て世代の方から「中井です、中井は子育てには良いですね。羨ましい」と言われる機会が多かったことに納得がいきました。この中井町の素晴らしい利点の数々をもっと広く世間に発信していくことが、今後、町の通勤者や子育て世代の増加に繋がるのではと期待しています。